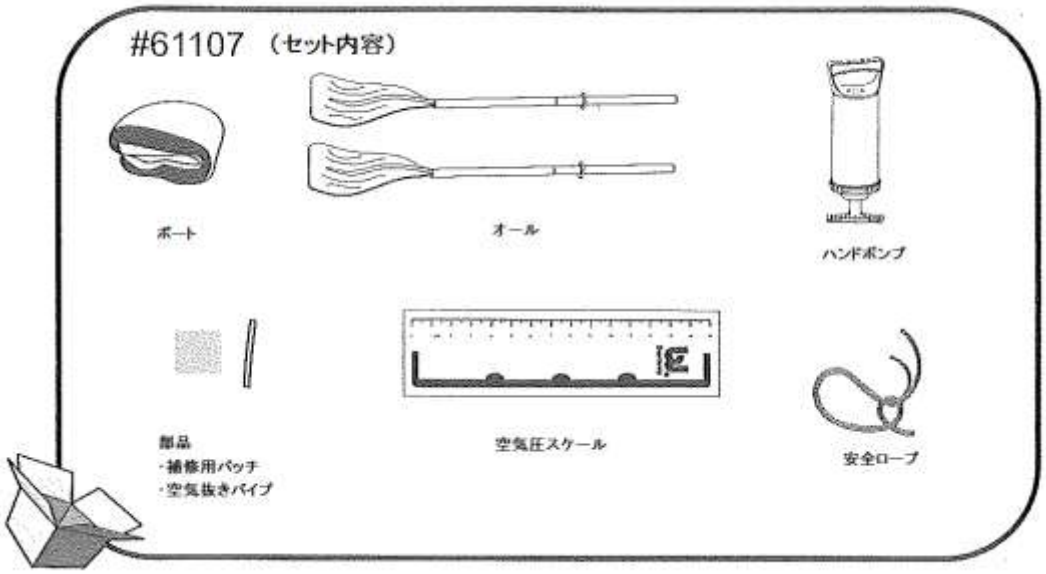
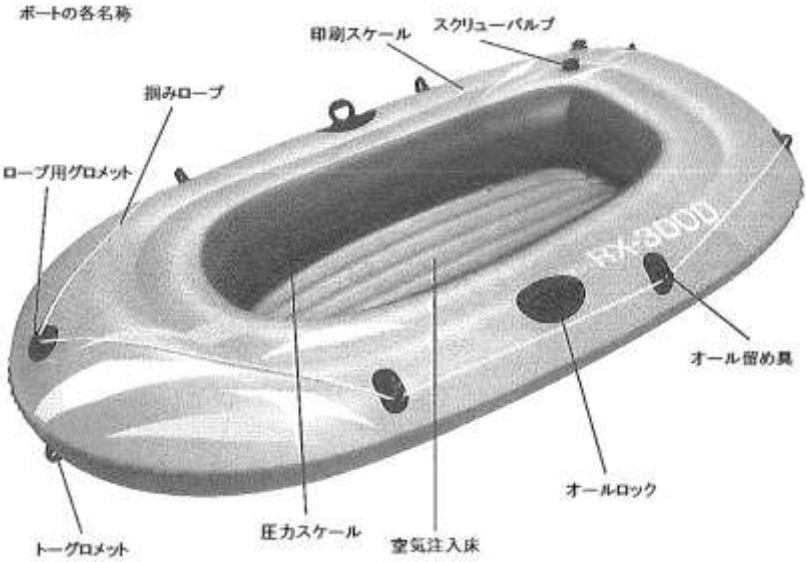
インフレータブルゴムボート 61107 RX-4000 Roft Set 取扱説明書

使用する前に取扱説明書をよくお読み下さい。

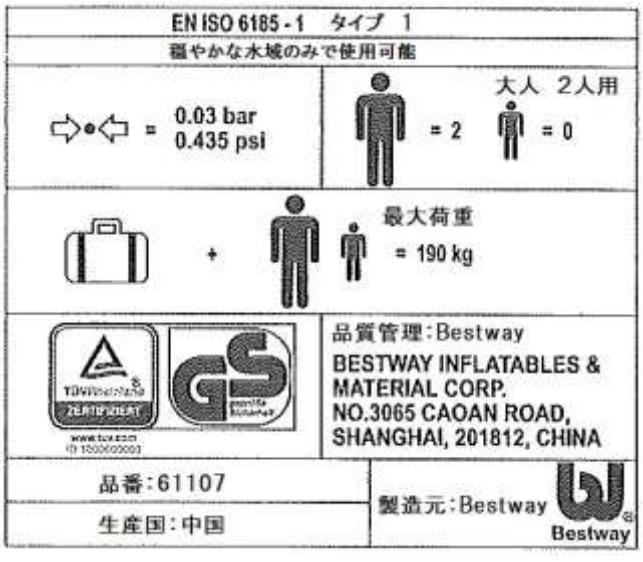


製品仕様

品番	使用時サイズ	最大荷重	最大乗員	空気圧
61107	2.23m x 1.10m	190 kg	大人2人	0.03 bar (0.435psi)



注意:図に書かれている名称は説明のためのもので、実際の名称と異なる場合があります。



穏やかな水域とは
波の穏やかな海岸沿い、小さな湾、湖、川や運河等

この製品は、穏やかな水域での使用を目的にデザインされたもので、風力は4、波の高さは通常0.3m以下で使用が可能です。

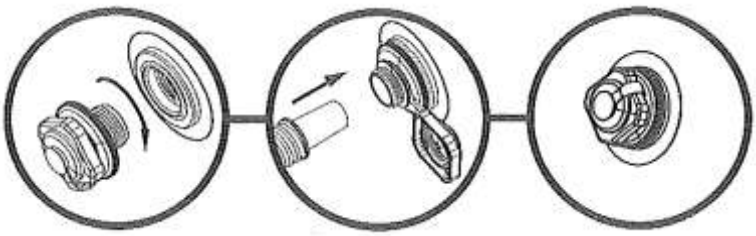
警告
ボートの破損や乗員への傷害を避けるために、製造元の掲げるデーターを超えた使用はやめてください。

輸入元
株式会社三和コーポレーション
大阪府豊中市小曽根3-9-14　〒561-0813
TEL 06-6336-3933

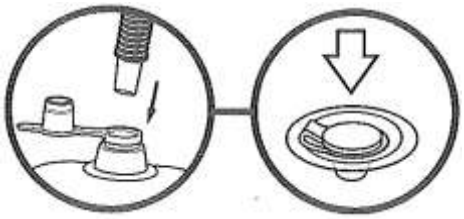
空気入れ

高圧機で空気は絶対に入れないようにしてください。商品が壊れるだけでなく、保証も受けられなくなります。

1. スクリューバルブ
   ボートの空気取り入れバルブにスクリューバルブを取り付けます。次に、スクリューバルブのカバーを外して空気入れのホースを差し込み、空気を入れます。空気を入れ終わったらスクリューバルブのカバーをしっかりと締めます。
   空気を入れ過ぎたらスクリューバルブのカバーを外して、同梱の空気抜きパイプで少し空気を抜いて下さい。丁度いい空気圧のなったらスクリューバルブのカバーをしっかりと締めて下さい。

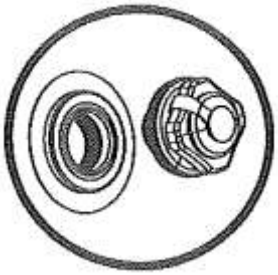


2. 安全バルブ
   安全バルブを開けて空気を入れます。終わったら安全バルブを締めて空気室の中に押し込みます。
   ボートに空気を入れている時は、ボートの上に座ったり、立ったり、もたれかかることのないようにして下さい。



空気抜き

1. スクリューバルブ
   スクリューバルブを船から取り外します。

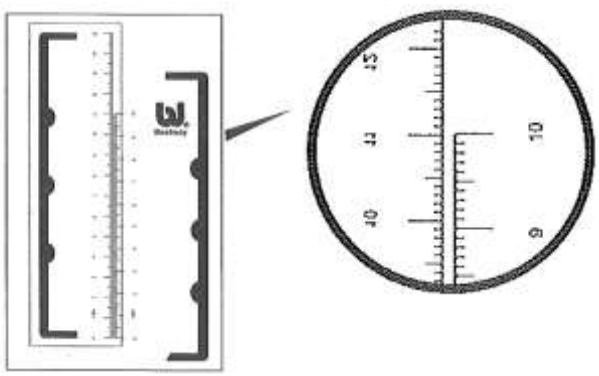


2. 安全バルブ
   空気室から安全バルブを引っ張り出します。安全バルブを開けて底を指でつまんで空気を抜きます。

絶対に高圧機で空気を入れないでください。

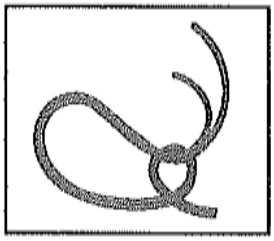
•平らで均一な地面にボートを広げます。
•専用のポンプで空気室に空気を入れます。
•空気注入時は空気圧ゲージに注意して下さい。空気圧スケールが商品に同梱されています。印刷されたスケールが同梱の空気圧スケールと同じレベルになるまで空気を入れて下さい。
注意:　空気の注入が少なすぎても多すぎても安全性を損なう結果になります。使用前には必ず空気圧をチェックするようにして下さい。他の空気圧ゲージを使う場合は、規定の空気圧を超えないように気を付けて下さい。
•空気を入れている最中はボートの上に立ったり、物を載せないようにして下さい。
•底の空気室と椅子に、触って硬くなるまで(硬すぎないように)空気を入れて下さい。

品番	膨らませたサイズ	空気を抜いたサイズ	膨らませたサイズ 空気室 2	膨らませたサイズ 空気室 3
61107	2.23m x 1.10m	10cm	11.3cm	10.9cm

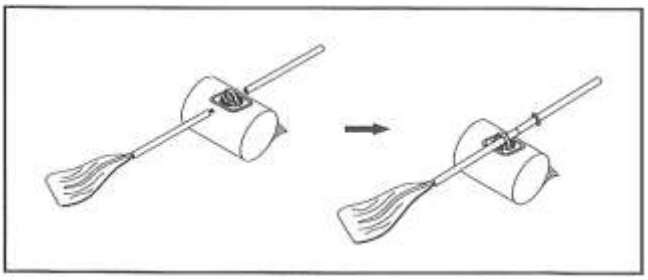


注意:　すべての図は実際の商品と異なる場合があります。

安全ロープの取付け
ロープ用グロメットからボート外周の丈夫なハンドルの穴に安全ロープを通して、結びます。
注:　安全ロープに問題はないか、しっかりと結ばれているか、注意深くチェックして下さい。



オールの組み立て



注:　オールを使用しない時はオール留め具にオールをロックして損傷を避けてください。

保管
1. オールロックからオールを外します。
   注:　アクセサリーはこれからも使うので保管して下さい。
2. ボートは、中性洗剤で洗ってください。
   注:　アセトン、酸、アルカリ性溶液は使用しないで下さい。
3. 柔らかい布で拭いて表面を乾かして下さい。
   注:　直射日光で商品を乾かさないで下さい。また、電気送風機は絶対に使わないでください。船を損傷したり、寿命が短くなります。
4. バルの空気室の空気を抜きます。空気圧が一緒に落ちるようにすべての空気室から同時に空気を抜いて下さい。そうすることで、ボートの内部構造への損傷を防ぐことが出来ます。
5. 次にボートの床の空気を抜いてください。
6. ボートを前から後ろに折り畳んで、残っている空気を出して下さい。ポンプを使って残っている空気を抜くことも出来ます。

修理
小さい穴があいた時は補修用パッチを使って指示通りに修理をして下さい。

使用上の注意

船が転覆したり破裂しないように下記の注意事項をよくお読みください。
1. 規定の人数を超えて乗らないで下さい。搭乗の人数に関わらず、乗員と器具の総重量が決められた耐荷重を絶対に超えないようにしてください。必ずシートあるいはシートのスペースを使ってください。
2. 船に荷物を積むときは規定の重量を超えないようにして下さい。常に注意深く積みこんで、設計された釣り合い(ほぼ水平)を保てるように配置してください。重いものを積み重ねないようにして下さい。
   注: 推奨されている最大荷重には乗員すべての重さ、食糧、設備、荷物、消費液体(水、燃料等)を全て含みます。
3. このボートを使用する時は、ライフジャケットやブイなどの救命具を事前に検品して常時着用して下さい。
4. 使用前には毎回、空気の入る部分、握りロープ、オールやエアーバルブなどの、ボートの構成部分を注意深く検品して、問題がないことを確認してください。もし損傷が見つかったらまず修理をしてください。
5. 空気漏れや浸水に備えてバケツや水をかい出すものや空気入れは常備しておいてください。
6. ボートが動いている時は、水中に投げ出されないように、乗船者は必ず座って下さい。また、ボートのバランスがとれていることを確認して下さい。
   人や積載物が不均等な位置にあると船が転覆する恐れがあります。
7. 必ず岸の近くで乗るようにし、風や潮の流れや波などの自然の要素には十分注意をしてください。
   沖の風の状態や潮の流れに十分気を付けて下さい。
8. 岸に着くときは気を付けて下さい。岩やセメント、貝殻、ガラスなどの尖ったり、ざらざらしたもので船に穴があいてしまうことがあります。表面がざらついたところでボートを引きずらないでください。
9. 番号に従ってそれぞれの空気室に規定量の空気を入れてください。入れ過ぎると船が破裂してしまいます。
10. トウリングでボートを引っ張る時はゆっくりと引っ張って、船を傷つけないように気を付けて下さい。
11. 船の操作に習熟してください。必要な情報やトレーニングが近隣で得られるかチェックして下さい。
    ボート乗り、或はその他の水にまつわる活動に関連する地域の規制や危険について、十分な知識を得るようにして下さい。

※この説明書はなくさないように大切に保管して下さい。